

令和2年12月

## 普及活動報告

### スクミリンゴガイ防除講習会で普及センターの取組みを報告

(3日)



取組内容の報告

農林水産省委託事業「令和2年度病害虫の効率的防除体制の再編委託事業」により「スクミリンゴガイ防除講習会」が開催されました。普及センターは、管内での取組内容の報告や耕うんによる同貝の破碎効果を高めるための留意点説明、現地運営の調整業務等を行いました。

会場となった地元亀岡をはじめ、府内各地から農家、関係者が参加し、今後の各地での取組み実施が期待できる講習会となりました。

場 所 農林センター及び亀岡  
市内ほ場

出席者数 50名



トラクター耕うん時の留意点を説明

**南丹地域では前年の3倍の291haで発生確認**

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年12月

## 普及活動報告

### 特産小豆の生産振興を目指して～亀岡市西部地区赤小豆品評会が開催～

(亀岡市：7日)



10名で厳正に審査



1位（亀岡市長賞）の小豆

小豆の生産振興を目的として、亀岡市西部地区農業振興協議会の主催による品評会が開催されました。

今秋は天候に恵まれ、大粒で収量が多い傾向にありましたが、出品点数は13点で昨年に比べて減少しました。その中で粒の大きさ、形の揃い、色つやを厳正に審査し、手収穫の部上位4点、機械収穫の部上位1点が特別賞となりました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、当品評会の表彰式と栽培研修会は開催されず、後日資料を配付して対応する予定です。今後は亀岡市全域を対象にした品評会を開催する方向で検討されています。

場 所 JA京都亀岡西部支店

出席者数 11名

**亀岡市の小豆栽培面積60ha**

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年12月

## 普及活動報告

### ジャンボタニシ対策について講演 ～南丹市農業委員会総会研修会～

(南丹市：7日)



ポイントを押さえて講習

南丹市ではジャンボタニシの生息地域拡大が懸念されています。

今回、農業委員会の要請を受け、農業委員、農地利用最適化推進委員を対象に、ジャンボタニシ被害を回避するため、田植え後の水管理や石灰窒素の投入、農薬による対処方法に加えて、その生態や南米産の動物がなぜ定着するに至ったかの経過などを網羅した講習を行いました。

参加者からは「石灰窒素の使い方は?」「冬期耕うんのコツは?」といった質問のほか、「生息地域が広がれば大変」との心配の声が聞かれました。

普及センターは、引き続きジャンボタニシ対策を支援していきます。

場 所 南丹市役所

出席者数 47名

南丹市のジャンボタニシ発生水田面積3ha(振興局調査)

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年12月

## 普及活動報告

### ビール大麦「ニューサチホゴールド」 の現地実証栽培始まる～亀岡市河原林 町～

(亀岡市：9日)



生育状況を調査

亀岡市では、地域戦略作物としてビール大麦（サチホゴールド）を生産されていますが、来年秋播きから品種を「サチホゴールド」から「ニューサチホゴールド」に全面的に切り替えることとなったため、農林センター作物部と普及センターが連携して、現地実証栽培に取り組んでいます。

11月14日に播種した大麦は順調に発芽・生育しており、担当農家も栽培に手応えを感じていました。普及センターは農林センターと定期的に巡回・調査し、生育状況を確認しながら、品種の切替えが順調に進むよう支援していきます。

場 所 亀岡市河原林町

出席 3名

亀岡市のビール大麦栽培面積：約87ha

京都府南丹農業改良普及センター



令和2年12月

## 普及活動報告

### 今年の出荷を振り返る～賀茂なす部会 が反省会を開催(亀岡市)～

(亀岡市：22日)



情勢報告を熱心に聞く参加者

JA京都京野菜部会亀岡支部賀茂なす部会が栽培反省会を開催され、普及センターからは今年度の気象データや巡回結果を基に、来年度の作付けに向けた病虫害防除などについて説明しました。

今年はコロナ禍の影響により、ほとんどの京野菜の単価が例年を下回る中、部会を挙げて小売店やスーパーへの売込みに尽力された結果、単価安を前年比84%までに抑えられました。普及センターは今後も、関係機関とともに賀茂なすの安定生産に向けて支援していきます。

場 所 JA京都亀岡中部支店  
出席者数 25名



普及センターから今年の栽培状況を説明

令和2年度JA京都亀岡支部賀茂なす部会員20名  
小売・スーパー出荷数：6,430ケース（前年943ケース）

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年12月

## 普及活動報告

---

### JGAP認証取得に向けて～農業法人がGAP 研修会を開催～

(亀岡市：23日)

JGAP認証取得を目指している農業法人から、従業員向けのGAP研修会での講演依頼を受け、普及センター職員が講師を務めました。

研修会では農林水産省のテキストに沿ってGAPについて説明した後、倉庫の整理整頓をどのようにしていくのか、現状を確認しながら課題と方法について意見交換しました。

研修会の後、社長と従業員のGAP推進担当者と今後の進め方について打合せを行い、年度内に審査を受けられるよう進めていくことになりました。普及センターは今後もGAP認証取得に向けて伴走支援を行います。

場 所 亀岡市

出席者数 11名

---

京都府南丹農業改良普及センター